

新たな射撃場のあり方検討委員会とりまとめ

新たな射撃場について、現時点では、県が整備する必要性まで判断するのは難しいが、スポーツ振興及び鳥獣被害対策の面から将来的な課題として、県において継続して検討することを求める。

その上で、緊急的な対策として練習環境の向上が必要であるため、クレー射撃協会、ライフル射撃協会、猟友会からの要望や、民間射撃場経営者からの民間射撃場を活用した協力の申し出などを踏まえ、県において次の事項について早急に検討することを求める。

- 1 民間射撃場におけるクレー放出機の競技用スピードへの短時間での調整を可能にするなど、競技力向上に資する具体的方策
- 2 民間射撃場へのライフル射撃用の動的標的の設置など、事故防止及び練習環境の向上に資する具体的方策
- 3 補助事業の活用状況を把握し、射撃練習環境の向上に資する見直し